

## 消 火 器 具 点 検 票

名 称	〇〇不動産㈱ 〇〇ビル					防 火 管理者	甲 野 太 郎 ㊟	
所 在	東京都千代田区霞が関 1-1-1					立会者	乙 野 二 郎 ㊟	
点検種別	(機器点検)		点検年月日	平成00年 00月 00日～ 年 月 日				
点 検 者	資格 番号 第 1 種140901234	点 検 者 氏名 安 全 太 郎 ㊟	社名	〇〇防災株式会社		TEL	3501-7911	
	住所		東京都港区虎ノ門 1-1-1					
点 検 項 目	点 検 結 果						措 置 内 容	
	消 火 器 の 種 別					判 定		不 良 内 容
	A	B	C	D	E			
機 器 点 検								
設 置 状 況	設 置 場 所	①	○	○		1	通路障害 (3F南通路)	位置変更 _____
	設 置 間 隔	○	①	○		1	歩行距離オーバー (2F東廊下)	位置変更 _____
	適 応 性	○	○	○		○		
	耐 震 措 置	/	/	/		/		
表 示 ・ 標 識	○	○	○		○			
消 火 器 の 外 形	本 体 容 器	①	○	○		1	下部発錆 (1F車庫)	備考 1 _____
	安 全 栓 の 封	①	①	○		2	A・損傷 (1F受付) C・脱落 (2F事務室)	質量確認復元 _____
	安 全 栓	①	○	○		1	脱落 (5F食堂)	内部及び機能確認復元 _____
	使用済みの表示装置	○	/	①		1	脱落 (RF電気室)	質量確認復元 _____
	押 し 金 具 ・ レ バ ー 等	○	○	○		○		
	キ ャ ッ プ	○	○	/		○		
	ホ ー ス	①	①	○		2	A・著しい損傷(1F車庫) C・取付けねじの緩み(3F事務室)	備考 2 _____ 締め直し _____
	ノズル・ホーン・ノズル栓	○	○	①		1	著しい損傷 (RF電気室)	備考 2 _____
	指 示 圧 力 計	/	○	○		○		CO <sub>2</sub> については質量を 測定して確認
	圧 力 調 整 器	/	/	/		/		
安 全 弁	/	/	○		○			
保 持 装 置	/	/	/		/			
車 輪 ( 車 載 式 )	/	/	/		/			
ガ ス 導 入 管 ( 車 載 式 )	/	/	/		/			

備考 1 この用紙の大きさは、日本工業規格A4とすること。

備考 2 消火器の種別欄は、該当するものについて記入すること。Aは粉末消火器、Bは泡消火器、Cは強化液消火器、Dは二酸化炭素消火器、Eはハロゲン化物消火器、Fは水消火器をいう。

備考 3 判定欄は、正常の場合は○印、不良の場合は不良個数を記入し、不良内容欄にその内容を記入すること。

備考 4 選択肢のある欄は、該当事項に○印を付すこと。

備考 5 措置内容欄には、点検の際措置した内容を記入すること。

消 火 器 の 内 部 等 機 能	本・ 体 内 容 筒 等	本 体 容 器	○	①			1	容器内部の発錆 (4 F 事務室)	備考 3
		内 筒 等	△	△	△	△	△		
		液 面 表 示	△	△	△	△	△		
	消 火 剤	性 状	①	○			○	固化 (3 F 事務室)	備考 4
		消 火 薬 劑 量	○	○			○		
	加 圧 用 ガ ス 容 器		①	△	△	△	1	ガス量不足 (1 F 車庫)	備考 5
	カ ッ タ ー ・ 押 し 金 具		①	△	△	△	1	作動不良 (5 F 食堂)	注油調整
	ホ ー ス		○	○			○		
	開 閉 式 ノ ズ ル ・ 切 替 式 ノ ズ ル		△	△	△	△	△		
	指 示 圧 力 計		△	○					
	使 用 済 み の 表 示 装 置		△	△	△	△	△		
	機 能	圧 力 調 整 器	△	△	△	△	△		
	安 全 弁 ・ 減 圧 孔 ( 排 圧 栓 を 含 む 。)	○	○	○		○			
	粉 上 り 防 止 用 封 板	①	△	△	△	1	封板破損 (5 F 事務室)	備考 6	
	パ ッ キ ン	○	○			○			
	サイ ホン 管 ・ ガ ス 導 入 管	○	○			○			
	ろ 過 網	△	△	△	△	△			
	放 射 能 力	○	○			○			
消 火 器 の 耐 圧 性 能		①	○			1	満水 (2 F 通路)	備考 7	
簡 易 用 具	外 形	△	△	△	△	△			
	水 量 等	△	△	△	△	△			

備考

要修理と判定された消火器の整備内容については別紙参照

測定機器	機器名	型 式	校正年月日	製造者名	機器名	型 式	校正年月日	製造者名
	秤量計	W-20	00.0.0	㈱〇〇製作所	耐圧試験機	〇〇-〇		㈱〇〇工業
	秤量計	W-02	00.0.0	㈱〇〇製作所	ストップウォッチ	〇〇-〇		△△ウォッチ
	圧力計	G-15	00.0.0	〇〇計器㈱				

器 種 名	設 置 数	点 検 数	合 格 数	要 修 理 数	廃 棄 数
外 形	粉末 (ガス加圧式)	15	15	13	2
	強化液 (蓄圧式)	15	15	15	0
	二酸化炭素	3	3	2	1
内 部 及 機 能	粉末 (ガス加圧式)	15	4	1	3
	強化液 (蓄圧式)	15	2	1	1

- 備考 1 この用紙の大きさは、日本工業規格 A 4 とすること。  
 2 消火器の種類欄は、該当するものについて記入すること。Aは粉末消火器、Bは泡消火器、Cは強化液消火器、Dは二酸化炭素消火器、Eはハロゲン化物消火器、Fは水消火器をいう。  
 3 判定欄は、正常の場合は○印、不良の場合は不良個数を記入し、不良内容欄にその内容を記入すること。  
 4 選択肢のある欄は、該当事項に○印を付すこと。  
 5 措置内容欄には、点検の際措置した内容を記入すること。

器種名	設置数	点検数	合格数	要修理数	廃棄数	
耐圧性能	粉末(ガス加圧式)	15	3	2	0	1
	強化液(蓄圧式)	15	2	2	0	

## 備考

1. 耐圧性能確認の結果異常はなかったので、塗装して復元した。(00.00)
2. 同型式のホース、ホーン、ノズルに取り替えた。(00.00)
3. 同類のもの全数(3本)について確認の結果、他に異常はなかった。  
当該消火器は、耐圧性能確認の結果異常はなかったので、内部を塗装して復元した。(00.00)
4. 同類のもの全数(4本)について確認の結果、他に異常はなかったので、当該消火器の薬剤を取り替えた。(00.00)
5. 同じ容器記号のガス容器に取り替えた。(00.00)
6. メーカー指定のものに取り替えた。(00.00)
7. 本体容器下部より漏水があったため、当該消火器を廃棄し、同型のを設置した。(00.00)

整備者氏名 昭和一郎

資 格 東京6 00123

所属会社 ○○防災株式会社

東京都港区虎ノ門1-1-1

TEL 03-3501-7911